

第1学年2組 国語科 学習指導案

日 時：令和6年11月15日（金）第5限
 指導者：木田 風咲
 場 所：1年2組教室

1 単元名 『不便』には本当に価値があるのだろうか？」自分の考えをまとめよう
 （川上浩司「不便の価値を見つめなおす」）

2 単元の目標

- (1) 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。
 【知識及び技能】情報(2)ア
- (2) 目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。
 【思考力、判断力、表現力等】C読むこと(1)ウ
- (3) 文章を読んで理解した筆者の考えに基づいて、自分の考えをもつことができる。
 【思考力、判断力、表現力等】C読むこと(1)オ
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
 【学びに向かう力、人間性等】

3 本単元における言語活動

筆者の主張に対して、賛成か反対かの立場をもち、根拠を明確にしながらかえをもち、文章にまとめる。

（関連：【思考力、判断力、表現力等】C読むこと(1)ウ）

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	①「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。C(1)ウ ②「読むこと」において、文章を読んで理解した筆者の考えに基づいて、自分の考えをもっている。C(1)オ	①進んで要旨を理解し、学習の見通しをもって、筆者の主張に即しながら交流をいかして自分の意見をもとうとしている。

5 指導に当たって

(1) 教材観

学習指導要領において、小学校第5学年及び第6学年のウ「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付け」ることとオ「文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめること」を受け、設定された教材である。中学校第1学年C読むことウ「目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈すること」とオ「文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにする」ことより、今回は筆者の主張に対する自分の意見をもつことを目的として要約していく。

現代は、身の回りのありとあらゆるものが自動化されている。私たちの生活は今現在も変化し続け、生徒が生きていくことになる将来、これまで以上にその変化が加速化していくことも予測される。このことから技術の進歩によって間違いなく生活は「便利」になったと言える。しかし一方で、私たちは自分で物事を考えなくても、「便利」に全てが進んでしまい、完結してしまう。それを良しとする環境の中で育ってきた生徒たちにとって、『「不便でよかった。」と感じたことはないだろうか』という筆者の問いかけは非常に新鮮なものとなるはずだ。これまで

意識してもこなかった視点から考える経験ができるという意味でも生徒の読書体験として非常に興味深い資料であるといえる。

また、よりスムーズに、簡略化され、便利になっていこうとする社会を「再評価」することは、筆者が述べる、「これまでの常識とは異なる別の視点をもつことで、世界をもっと多様にみることができる」態度にもつながる。これからの未来の社会を担う生徒が、これまでにない着眼点を得て自らの生活を振り返ることで、これからの時代をよりよく生きるためのヒントを得させたい。

(2) 生徒観

当日の指導案集をご覧ください。

(3) 指導観

本単元では「筆者の主張に対して、賛成か反対かの立場をもち、根拠を明確にしながら考えをもち、文章にまとめる」ことを言語活動として設定する。筆者はシステム工学の立場から、「不便」の価値を不便益と名付け、その魅力について語っているので、生徒にとっては、共感できる場所もあれば、できないところもあるだろうと思われる。そこで次のような活動を設定する。

① なぜ共感できるのか、なぜできないのかについて、ロジカルシンキングシートを元にポイントを整理する。

② 身の回りの「不便」について考え、「不便」の良い面と悪い面について文章にして書く。
身の回りの「便利」について考え、「便利」の良い面と悪い面について文章にして書く。

自分の立場だけにとどまらず、「不便」「便利」の双方から良い面と悪い面を捉えることによって、大量消費時代を生きる私たちにできることを考え、今後の生活に活かす視点を持てるようになってもらいたい。また、双方の考えを踏まえた上で考えを構築することによって、自分の立場を明確にしながら文章にまとめる。

6 指導と評価の計画（総時数6時間）

時間	学習活動	評価する内容・評価方法
一 1	○『「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ』を例に書いた筆者の考えに対する考えのモデルを用いて、学習の見通しをもつ。 ○文章全体を読み、筆者の主張を整理する。 ○「不便益」の具体例に対して共感できるか考える。 ○筆者が挙げる具体例について、思考ツールを使って分析する。	【知識・技能】 ①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア (ワークシート)

二	○文章中の3つの事例から1つ選び、筆者の主張について要約する。	【思考・判断・表現】 ①「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。C(1)ウ(オクリンク)
1	○作成した要約文に「根拠・理由・主張」の3要素が含まれているか考える。	
2	○身の回りの「便利」なものや「不便なもの」について具体例を挙げる。 ○既習を参考にしながら、交流会ではどのような意見があればより説得力が増すのか考え、説明することができる。	【思考・判断・表現】 ②「読むこと」において、文章を読んで理解した筆者の考えに基づいて、自分の考えをもっている。 C(1)オ(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ①進んで要旨を理解し、学習の見通しをもって、筆者の主張に即しながら交流をいかして自分の意見をもつことができる。 (フォーム)
3	○事例ごとに分析し、筆者の主張に対しての自分の考えをもつ。 ○交流会の準備を行う。	
4	○班ごとに交流会を行う。 ○筆者の主張に対する自分の考えを再構築し始める。	
5	○筆者の主張に対する自分の考えを再構築する。 ○学習を振り返る。	

7 学校研究との関わり

◇視点Ⅰ 生徒一人一人の可能性を引き出す工夫

- (1) 単元の具体的なゴールをモデルとして共有し、単元の目指す姿を明確にすることで、どの生徒も見通しをもって活動できるようにする。
- (2) オクリンクを使い、学級で確認した「筆者の意見に対する自分の考えで使用できる事例」をいつでも確認できるようにし、他の生徒の意見を参照できるようにしながら、それらをヒントにして自分の考えをもつことができるようにする。
- (3) 文章を読み進める中で、随時思考ツールを用いながら文章の内容を整理したり、自分の考えを構築したりすることができるようにする。

◇視点Ⅱ 自己決定の場の工夫

- (1) 学びを広げるために、自分で立場を決めた上で、分析する活動を行うようにする。
- (2) 筆者の意見を踏まえ、学習の中で見つけてきた日常生活の例以外にも自分の立場にあった例を探し、筆者の意見に対しての自分の考えをもつことができるようにする。
- (3) 自分の意見に説得力をもたせるために効果的な交流相手を自分で選択し、活動できるようにする。また、生徒一人一人の選んだ事例を確認できるようにする。

8 本時の学習（第二次 第4時）

- (1) 小単元名 「不便の価値」について交流会をしよう
- (2) 本時のねらい

- ・「読むこと」において、文章を読んで理解した筆者の考えに基づいて、自分の考えをもつことができる。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ

(3) 本時の展開

配時	<p>○主な学習活動 ・予想される生徒の思考や発言 <u>下線生徒が ICT を活用する場面</u></p>	<p>*教師の関わり ◇研究の視点 ☆評価【観点】(評価方法)</p>
つかむ (5)	<p>○前時で作成した「自分の考え」を読み直し、より納得できる内容にするための活動であることを確認する。 ・自分の意見が客観的なものか確認しないといけないよ。 ・どんな人の意見を聞くと自分の参考になるのだろう。</p>	<p>*前回の学びを電子黒板で示しながら、スムーズに復習を行い、課題につなげていく。</p>
<p>課題 自分の考えを、他の人の意見と比べながら再構築しよう。</p>		
ふかめる (35)	<p>○同じ事例を選んだ人同士で組んだ班で意見の交流を行う。 ・1つ目の事例は「不便さ」の中に新しい発見があったね。私は自転車通学になって、登校にかかる時間は短くなったけれど友達と話しながら歩いていたときに懐かしいなと思ってよ。 ・2つ目の事例はあえて不便なことをするって話だったよね。おじいちゃんの行っている老人ホームにも「あえて」段差をなくしてない部屋があったよ。足の筋トレになるんだって。 ・3つ目の事例はゲームの話が当てはまると思う。だって、攻略本を見たら確かに最短でクリアできるけれど、工夫したり改善したりして「もっと上」を目指すことができなくなってしまったよね。</p> <p>○学級で共有し、交流の目的を再確認する。 ・Aさんは「足で漕ぐ車椅子」を教えてくださいました。小さな力や片足でも漕げるそうです。「自分で」動かしたという事実は身体能力の向上だけでなく自信にもなります。 ・Bさんは不便益に共感しないそうですが、交通が便利になった方が自由な時間が増えると言っていました。私も同じ意見だったので別の立場の人の話も聞きたいです。</p> <p>○<u>自分の意見を論理的にするために、交流相手を自ら選択し、意見交流をする。</u> ・僕も交通は便利の方が良いと思います。ちなみにBさんは時間が手に入ると言っていました。その時間で何をしていますか。 ・Aさんの選んだ事例は私とは違うけれど、3つ目の事例であった「モチベーションが上がる」という話にもつながる気がする。詳しく教えてほしいな。</p> <p>○交流によって意見の再構築に取り組むことができそうだと判断できた生徒から、座席に戻りクロームブックで自分の考えを記入する。 ・「紙の辞書の方が、調べるとときに他の話にも気づける」というCさんの意見は今回使えそう。入れてみよう。</p>	<p>*事例ごとに教員側で決めた4人班になり交流を行う。このとき自分の考えと比較しながら聞くように声かけする。 *ワークシートにメモしながら、交流を行う。 *前時のワークシートや、ノートの既習事項などを随時確認するように呼びかける。 *協力して活動できる場を工夫し、互いの考えや方法のよさに気づかせる。</p> <p>*電子黒板で生徒の立場(選んだ事例・共感するかしないか)を確認できるようにして、次の学習につなげる。 *交流する相手としてどのような基準があるのか確認する。「深めたい」のか「広げたい」のかの区別を付ける。</p> <p>◇視点II (3) 自分の意見に説得力をもたせるために効果的な交流相手を自分で選択し、活動できるようにする。また、生徒一人一人の選んだ事例を確認できるようにする。</p> <p>☆「読むこと」において、文章を読んで理解した筆者の考えに基づいて、自分の考えをもっている。 【思考・判断・表現】 ②C(1)オ(ワークシート)</p>

	<p>【B 規準】</p> <p>「自分で考えたり工夫したりする余地があるからこそ、取り組むときのモチベーションが高まり、成し遂げたときの達成感が大きくなるのだ。」という意見に賛成する。私も部活動で強いチームの戦い方をそのまま真似して、練習していただくではある程度の上手さは手に入っても、「より強く」なることはできないと考えるからだ。</p> <p>しかし、<u>効率的な練習のおかげで手に入った時間を別の練習に当てることができるという考えの人もあるだろう。</u>しかし、自分のチームにあった作戦を考えたり、複数のチームのものを組み合わせて考えていったりすることがおもしろさにつながるし、もっと上手くなっていくように工夫し続けることができる。</p> <p>このことから、筆者の「不便益」の考えに賛成したい。</p>	<p>★Cと判断される生徒への手立て</p> <p>これまで作成してきた思考ツールを確認し、似た事例をあげている生徒につなげる。</p>
<p>まとめ る (10)</p>	<p>○学習を振り返り、今後の学習や生活にいかす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的な意見になるように個人の好き嫌いはないほうがいい。 ・他の意見を聞くことで、考えつかなかった不便の良さに気づくことができた。 ・自分と違う立場の人の意見も、活用すればむしろ説得力があがる。 	<p>*次回は自分の考えを再構築し、より説得力のある文章にしていくことを伝え、本単元の学習をどのようにいかしていくのか作戦を立てさせる。</p>
	<p>振り返り 交流会をすることによって、筆者の意見について詳しく考え直すことができた。筆者の事例と似すぎている意見しか思いつかなかったから、<u>聞いて良かった。</u>次回は意見を書いていかなければいけないので、教えてもらったものの中から一番自分の考えにいかせそうなものを選びたい。</p>	

<p>本時のねらいを達成したときの生徒の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒の考えを参考に（あるいは自分の読みを周囲の理解の助けとして）、筆者の主張を捉え、自分の意見に活用している。 <p>人権尊重の視点に立ち学習活動を行ったときの生徒の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒の考えを自分の考えにいかし、その意見の良さを感じながら考えの形成に役立てている。
